

めでいかすとり
Médicastre



「アオラキ/マウント・クック（ニュージーランド）」

日時：平成30年3月23日(金) 19:00～
場所：グランド エル・サン

荘内地区健康管理センター協力医会

3月23日、荘内地区健康管理センター協力医会をグランド エル・サンを会場に開催いたしました。日頃から健康管理センター事業において健診の診察、読影、診断等でご協力いただいている会員の先生方27名と、職員23名を合わせた50名が参加し、担当理事である齋藤慎先生の進行で開会いたしました。会長の土田先生からのあいさつでは今年度で勇退されます副センター長の鈴木伸男先生へ慰労と感謝の言葉があり、会全体が鈴木先生への慰労の会へ様変わりしたなか、昨年同様の各部会、検診委員会で話し合われた内容の報告、平成29年度センター事業実施報告と平成30年度事業計画について報告を行いました。平成29年度は人間ドックの受診者数が減少し大変厳しい1年となりました。特に鶴岡市・三川町住民の人間ドック受診者が減少しております。平成30年度も

厳しい状況は続きますが、行政と連携をはかりながら職員一丸となり取り組んでいきたいと思っています。

その後、副センター長の鈴木先生より乾杯のご発声をいただき懇親会となりました。先生方とお話しする数少ない機会をいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

閉会のあいさつは副会長の福原先生よりいただきました。そのお話しの中でも鈴木先生とのエピソードをご紹介いただき、参加者一同、鈴木先生への感謝の気持ちを抱きながらの閉会となりました。

会員の先生方へ平成29年度のご協力に改めて感謝申し上げます。新しい年度もどうぞよろしく願いいたします。

総務企画課
課長 井上 祐司



ほたる主催公開講座

日時：平成30年3月11日(日) 13：30～16：15

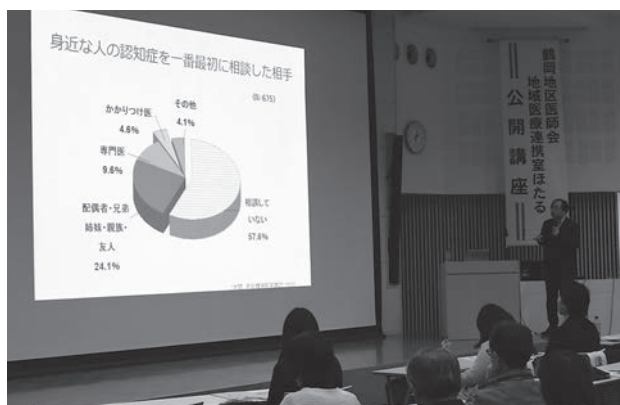
場所：鶴岡市産業研究支援センター レクチャーホール

「認知症を知ろう」

～ 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～

地域医療連携室ほたる

課長 遠藤 貴恵



地域医療連携室ほたるでは、今年度も市民啓発活動の一環として、去る3月11日(日)の午後、鶴岡市産業研究支援センターレクチャーホールを会場に「認知症を知ろう！」～住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～をテーマに公開講座を開催し、約130名の皆さまにご来場いただき盛会裏に終了することができました。

第1部の講師お1人目は、鶴岡市認知症施策の中心人物であります、鶴岡市立荘内病院神経内科主任医長の丸谷宏先生で「認知症を理解しよう！」と題し、認知症とは？その症状、日常生活の変化、早期診断・早期治療の重要性など基礎的な知識部分や、鶴岡市の認知症対策の取組みを詳しくかつ分かりやすく教えていただきました。

お2人目は、こちらも同じく鶴岡市立荘内病院認知症看護認定看護師の富樫千代美さんに「認知症その人を支えるために」と題し、院内の認知症ケアチームの活動内容やケアの仕方、

コミュニケーションの取り方などを具体的に解説いただきました。「困っているのはご本人誰もがみんな誰かの大切な人 認知症の人も自分の世界で一生懸命生きています。できない部分をそっと支えて、支えられて生きてるっていいね。笑顔っていいね。」とても印象的な言葉で、会場の皆さまも最後まで真剣にメモを取られたりと頷きながら聴講していたのが印象的でした。

つづいて第2部は「知って備える！高齢者と安全運転」と題し、仙台にあります、R（ロード）・45日の出自動車学校副管理者であり、日本交通心理学会認定交通心理士の資格をお持ちの奥山祐輔先生にご講演いただきました。「交通心理士」聞き慣れない資格ですが、皆さまはご存知でしょうか？交通心理学会が認定する資格であり、いわゆる交通心理学分野のプロといわれる資格になります。連日、高齢者の運転による交通事故等がニュースで取り上げられ、私





自身も「高齢者の運転は危険！」とのイメージを持ちつつこの講演をお聴きしました。

奥山先生は、高齢者ドライバーが増加しているのは事実だが「高齢ドライバーは危険」とのイメージは、マスコミが認知症の事故を敢えて取り上げていることが背景にあると仰っていました。また、「年だから」あるいは「認知機能が低下しているから」運転をやめさせるという言葉がよく聞かれることもあるが、高齢者はどうしてもこういう命令には「反抗したくなる」し、運転しない＝頼りにされなくなる、孤立感、無力感につながっている。だからこそ高齢者が長く運転を続けられるよう支援することが重要であり、その支援の先には、自ら運転を止めることも含まれると説明があり、その高齢者ドライバーの運転の安全性をあげる「補償運転」について教えていただきました。「補償運転」初めて聞く言葉ですよね。以下がその「補償運転」の一部です。

- ・夜間の運転を控える。
- ・雨の日の運転を控える。
- ・体調が悪い時は運転を控える。

- ・長距離の運転を控える。
- ・行き先へ自信がないとき一人で運転しない。
- ・カーラジオを聞かずに運転に集中する。

この言葉をいただきこの日のほたる公開講座は終了となりました。会場の皆さまもその言葉を胸に帰途につかれたかと思います。

人は誰もが年齢を重ねるごとに「認知機能・身体機能」が低下してきます。これらの低下は自動車の運転にも大きな影響を及ぼしますので、いつかは運転を止めなければならない日がくるかもしれません。できるだけ長く運転するために「補償運転」を心がけていければと強く感じたところです。

さて、毎年公開講座を開催していますが、地域住民への医療・介護の関連する啓発活動については、メディア等から得るさまざまな知識が蔓延している中、何度も繰り返し行っていく必要性を感じます。今後もその時々話題をしっかりキャッチし、地域住民の皆さまに伝える場を継続していきたいと考えております。良いアイデアなどございましたら是非お寄せいただければと思います。

最後に、参加いただきました皆さま方はじめ、企画の段階から多大なるご協力を賜りました鶴岡市立荘内病院様、R・45日の出自動車学校様、関係者の皆さまにはこの場を借りて改めて御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

新入会員・医師会ニューフェイス

～平成30年4月1日入会・平成30年3月21日採用～



氏名：矢野 梨加
 生年月日：昭和54年1月26日
 生まれた所・育った所：鶴岡市（旧櫛引町）
 勤務先・診療科目：介護老人保健施設 みずばしょう
 出身校：聖マリアンナ医科大学
 趣味・特技：山登り、洋裁
 鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：20年ぶりに鶴岡に帰ってきました。
 よろしく願っています。

医師会ニューフェイス

～平成30年4月1日採用～ ①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 石原 良
- ② 荘内地区健康管理センター センター長
- ③ 釣り
- ④ カラオケ同好会を作りました



- ① 本間 千里
- ② 荘内地区健康管理センター
総務企画課 保健師
- ③ 音楽鑑賞、ライブコンサートに行くこと、ディズニーに行くこと
- ④ 新社会人で至らない点もありますが、一日も早く仕事を覚え、一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願いします。



- ① 大川 礼乃
- ② 荘内地区健康管理センター
事業推進課 一般職
- ③ バスケットボール
- ④ 明るく元気に、笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。



- ① 本間 泉希
- ② 荘内地区健康管理センター
総務企画課 一般職
- ③ 旅行、読書
- ④ 早く業務を覚えられるように頑張ります。よろしくお願いします。



- ① 瀧元 はな
- ② 荘内地区健康管理センター
臨床検査課 臨床検査技師
- ③ マンガ、バドミントン
- ④ 一日でも早く、一人前の検査技師になれるよう努めます。認定資格にも挑戦したいです。



- ① 佐藤 響
- ② 荘内地区健康管理センター
事業推進課 一般職
- ③ 音楽鑑賞、DVD鑑賞、旅行
- ④ 新しい環境に緊張していますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



- ① 太田 詩織
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
栄養科 管理栄養士
- ③ 体を動かすこと
- ④ 一生懸命がんばりますので、よろしくお願いします。



- ① 工藤 響介
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 理学療法士
- ③ 野球、スノーボード、バイク
- ④ 一日も早く仕事に慣れ、貢献出来るように頑張りますので、よろしくお願いたします。



- ① 本間 つぐみ
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 音楽鑑賞、ドラム
- ④ 一生懸命頑張りますので、よろしくお願いたします。



- ① 土岐 俊介
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 理学療法士
- ③ 登山、卓球
- ④ 常に笑顔で、安心感を与えられる理学療法士を目指します。よろしくお願いたします。



- ① 乙坂 径
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 准看護師
- ③ 読書、ウィンドウショッピング(雑貨めぐり)
- ④ 正しい知識、技術を身につけ信頼される看護師を目指し、頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



- ① 高橋 翔吾
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 作業療法士
- ③ スポーツ、ゲーム
- ④ 新人なので不安なことですが精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



- ① 伊藤 亜津佐
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 准看護師
- ③ 野球観戦
- ④ 患者さんだけでなく、その家族にも寄り添えられるように頑張りたいと思います。



- ① 土岐 紗佑実
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 作業療法士
- ③ 韓国の音楽を聴くこと
- ④ 何事にも一生懸命努力しますので、よろしくお願いたします。



- ① 石川 真優
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 介護福祉士
- ③ 野球観戦や体を動かすこと
- ④ 早く役に立てるように頑張ります。よろしくお願いたします。



- ① 齋藤 典子
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 手芸
- ④ 一日も早く仕事に慣れ、戦力としてお役にたてるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。



- ① 渡部 泰樹
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 介護員
- ③ 音楽鑑賞、ゲーム
- ④ 高校を卒業したばかりで、まだまだ未熟ではありますが、精一杯頑張りたいと思います。



- ① 富樫 智
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 3人の子供の子育て
- ④ 早く仕事を覚えて、戦力になれるように頑張ります。よろしくお願いたします。



- ① 五十嵐 直
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 介護員
- ③ ショッピング、散歩
- ④ 出会いを大切に、精一杯努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。



- ① 佐藤 史枝
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 音楽鑑賞、柔軟
- ④ 一日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。ご指導くださいますようお願いたします。



鶴岡地区医療学術懇話会

日時：平成30年3月9日(金) 19:00～
場所：ベルナール鶴岡

『 Patient-centered Approach を 実現するための配合剤活用術 』

済生会新潟第二病院
代謝・内分泌内科 部長 鈴木 克典 先生

要旨

近年、経口血糖降下薬の領域でも、異なる作用機序の経口血糖降下薬の配合薬が次々と上市されている。1種類の経口血糖降下薬で血糖コントロールがうまくいかない場合、次の一手として、服薬錠数を増やさずに血糖値を改善、単剤の増量に伴う副作用の発現を抑えることが可能になる。患者にとっては、薬剤アドヒアランスの改善や薬剤費負担の軽減にもつながる。薬物治療のなかで、アドヒアランスは薬剤の確実な効果という意味においてだけでなく生命予後にも影響を及ぼすとの報告がある。特に糖尿病患者では他の慢性疾患の患者と比べ、多種類の薬剤が処方されている場合が多く、そのアドヒアランスは決して良好とは言えない。

現在糖尿病の経口血糖降下薬の中で単剤ではDPP4阻害剤が低血糖を起こす可能性も低く、体重へも影響がなく、副作用も少ないとの理由から最も多く使用されている。また最近いくつかのSGLT2阻害剤が上市され、この中で特定のSGLT2阻害剤では血糖値の改善だけでなく心血管イベント抑制や腎保護作用も大規模臨床試験で報告されている。今後はDPP4阻害剤とそのSGLT2阻害剤の両剤を投与される患者が増えることが予想される。その様な中、はじめてDPP4阻害剤（テネリア錠）とSGLT2阻害剤（カナグル錠）の配合薬であるカナリア配合錠が上市された。今後カナリア配合錠は益々使用される機会が増えることが予想される。

本講演では、実臨床の中で私自身が数種類の配合薬を使用した結果を交え、これら配合薬のメリットと注意点、あわせてはじめてのDPP4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤カナリア錠について解説を加えるとともに、実臨床の場においてこの薬剤の有効利用について解説したい。

表 紙

「アオラキ/マウント・クック（ニュージーランド）」

三原 一郎

アオラキ/マウント・クックはニュージーランドの最高峰であり、今でも氷河に覆われ、登頂の難しい山としても知られています。写真の手前にみえるプカキ湖は、氷河の移動で削られたU字谷に溶けた氷河が流れ込むことでできた湖で、湖面はミルキーブルーと呼ばれる幻想的な色彩を帯びていました。

編 集 後 記

春が来て、新年度を迎えました。例年のことながら、日もすっかり長くなり、1か月前とは打って変わった天候の今日この頃です。

今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定がありました。総額が大きく変わるものではないのですが、加算や認定に細かい条件が付いて、毎回複雑になってきます。

例年のように、医師会も退職される方と入職の方をはじめ職員の異動がありました。

退職される方々には、わたくしが役員になったばかりの頃からお世話になった方も多く、名残惜しい思いです。今後のご活躍を願うとともに、地域や医師会のためにひきつづきお力をお貸しいただきたく、お願いいたします。特に、鈴木伸男先生には長きにわたり、健康管理センターと役員でのお仕事ご苦勞様でございました。公私ともお世話になり、お礼申し上げます。これからも様々な機会にお会いできることと、楽しみにしております。

一方、石原良先生、矢野梨加先生をはじめ、21人の新入職員を迎えることができました。鶴岡地区医師会が行っている健診・医療・介護事業は現場の職員の皆さんに担っていただいています。さぁー、今年度も気合を入れて、頑張りましょう。

4月末には役員改選の臨時総会が開かれ、5月の定時総会以後は新役員での運営となる予定です。

会員の先生方には、今後様々な機会にお世話になりますが、新入職員、新役員ともども、よろしくお願ひいたします。

(小野 俊孝)

編集委員：三浦道治・小野俊孝・福原晶子・三科 武・佐久間正幸・木根淵智子・渡邊秀平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>